2019年(令和元年)度 事業報告書

2019 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日

2020 年 6 月 20 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

2019年（平成31年）度事業報告書

目　　次

Ⅰ. 2019年度 事業報告 ---------- 1
Ⅱ. 2019年度 事業詳細 ---------- 3
公益目的事業 ---------- 3
団体助成 ---------- 3
個人助成 ---------- 5
JANAMEF セミナー・シンポジウム ---------- 8
茨城県指導医団国外派遣事業支援業務 ---------- 10
Ⅲ. 2019年度 評議員会・理事会議事 ---------- 12
Ⅳ. 組 織 ---------- 14
顧問・評議員・役員名簿 ---------- 14
委員名簿、事務局 ---------- 15
Ⅴ. 事業報告の附属明細書 ---------- 17

Ⅰ．2019年度事業報告

（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

2019 年度事業は、2019 年 3 月 16 日（土）開催の 2018 年度第 3 回定時理事会において承認された事業計画及び収支予算に基づいて実行し、その概要は以下のとおりである。

事業区分として、公益目的事業会計及び法人会計の 2 区分があり、本報告書はそれらの区分に基づいて作成している。

公益目的事業

○評議員会・理事会・委員会・セミナー等

1. 4 月 19 日（金） 2019 年度日本版ホスピタリスト助成　選考委員　事前打ち合わせ（東京）
   4 月 20 日（土） 2019 年度日本版ホスピタリスト助成（長期・短期）の選考委員会（東京）
   2019 年度環太平洋アジアファンド留学助成の選考委員会（東京）
   長期助成者：3 名、短期助成者 2 名、環太平洋アジアファンドは応募者なし
2. 5 月 23 日（木） 第 1 回理事会（定時）
3. 6 月 15 日（土） 第 1 回評議員会（定時）、第 2 回理事会（臨時）
4. 6 月 19 日（水） 2019 年度第 1 回賛助会費及び寄附金の依頼
5. 7 月 12 日（金） 第 1 回企画開発委員会
6. 8 月 7 日（水） 「30 周年記念誌」賛助会員へ送付
7. 8 月 9 日（金） 2019 年度第 2 回賛助会費及び寄附金の依頼
8. 8 月 24 日（土） 第 2 回企画開発委員会
9. 9 月 1 日（日） 埼玉県トップランナー育成留学支援事業　第 1 回応募者面接（埼玉県庁）
10. 9 月 13 日（金） 第 3 回理事会（臨時）
11. 9 月 15 日（日） 30 周年フォローアップセミナー　ワシントン大学ブランチャード教授来日
12. 9 月 18 日（水） 第 1 回広報委員会
13. 10 月 8 日（火） 第 2 回評議員会（臨時）
14. 10 月 10 日（木） 第 1 回学術委員会
15. 10 月 14 日（月） 2019 年度日本版ホスピタリスト助成（短期）の選考委員会（東京）
    短期助成者 4 名
16. 10 月 29 日（火）～11 月 7 日（木） 茨城県指導医団国外派遣事業（米国・ハワイ州）
17. 11 月 2 日（土） 第 20 回医学留学セミナー（名古屋大学と共催）
18. 11 月 16 日（土） 第 3 回企画開発委員会

19. 11 月 20 日（水） 第 2 回学術委員会、第 2 回広報委員会（合同開催）

20. 12 月 9 日（月） 2019 年度第 3 回賛助会費及び寄附金の依頼

21. 12 月 18 日（水） 第 3 回学術委員会、第 3 回広報委員会（合同開催）

22. 2020 年 1 月 18 日（土） 第 4 回企画開発委員会
第 4 回学術委員会、第 4 回広報委員会（合同開催）

23. 1 月 21 日（火） 2019 年度第 4 回賛助会費及び寄附金の依頼

24. 2 月 14 日（金） 埼玉県トップランナー育成留学支援事業　第 2 回応募者面接（埼玉県庁）

25. 3 月 23 日（月） 第 4 回理事会（定時）　新型コロナウイルスの影響により、「決議の省略」

26. 3 月 25 日（水） 第 3 回評議員会（定時）　新型コロナウイルスの影響により、「報告の省略」

27. 3 月 31 日（水） 2020 年度日本版ホスピタリスト助成の応募締切
2020 年度環太平洋アジアファンド留学助成の応募締切

28. 3 月 31 日（水） 2020 年度第 1 回賛助会費及び寄附金の依頼、会員専用ページ開設案内

○団体助成

1. 4 月 26 日（金）～28 日（日） 東京国際内視鏡ライブセミナー2019

2. 5 月 15 日（水）～19 日（日） WONCA Asia Pacific Region Conference 2019

3. 5 月 31 日（金）～6 月 1 日（土） 第 61 回日本小児神経学会学術集会

4. 5 月 31 日（金）～6 月 2 日（日） 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会

5. 7 月 20 日（土）～21 日（日） 第 13 回 IT ヘルスケア学会学術大会

6. 9 月 21 日（土） 第 7 回日本シミュレーション医療教育学会学術大会

7. 10 月 9 日（月）～11 日（水） 第 39 回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会総会

8. 10 月 17 日（木）～20 日（日） 第 40 回日本アフェレシス学会学術大会

9. 12 月 7 日（土）～8 日（日） 第 9 回日本在宅看護学会学術集会

○個人助成

1. 4 月 20 日（土） 2019 年度日本版ホスピタリスト助成（長期・短期）の選考（5 名）------（米国他）

2. 8 月 12 日（月）～17 日（土） 医学部夏期集中医学英語研修の助成（14 名） ----------（米国）

3. 10 月 14 日（月） 2019 年度日本版ホスピタリスト助成（短期）の選考（4 名）----------（米国他）

4. 10 月 27 日（日）～11 月 2 日（土） 第 16 回アメリカ短期看護研修の助成（8 名） -----（米国）

Ⅱ．2019年度事業詳細

2019 年度事業計画に基づき、公益目的事業として 9 件の団体助成、4 件の個人助成、1件のセミナー、茨城県と埼玉県へ支援業務を実施したので詳細を以下に報告する。

公益目的事業

団体助成

1．東京国際内視鏡ライブセミナー2019（東京ライブ）

会期：2019 年 4 月 26 日（金）～28 日（日）
主催：東京国際内視鏡ライブ
代表世話人長：井上　晴洋（昭和大学江東豊洲病院　消化器センター長）
会場：昭和大学江東豊洲病院　9階講堂

2．WONCA Asia Pacific Region Conference 2019

会期：2019 年 5 月 15 日（水）～19 日（日）
主催：WONCA Asia Pacific Region Conference 2019
大会長：伴　信太郎（愛知医科大学　医学教育センター長）
会場：国立京都国際会館

3．第 61 回日本小児神経学会学術集会

会期：2019 年 5 月 31 日（金）～6 月 1 日（土）
主催：日本小児神経学会
大会長：齋藤　伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科　新生児・小児医学分野　教授）
会場：名古屋国際会議場

4．第 97 回日本消化器内視鏡学会総会

会期：2019 年 5 月 31 日（金）～6 月 2 日（日）
主催：日本消化器内視鏡学会
大会長：井上　晴洋（昭和大学江東豊洲病院　消化器センター長）
会場：グランドプリンスホテル新高輪　国際館パミール

5．第 13 回 IT ヘルスケア学会学術大会

会期：2019 年 7 月 20 日（土）～21 日（日）
主催：IT ヘルスケア学会
大会長：山下　和彦（了徳寺大学健康科学部　教授）
会場：大阪保健福祉専門学校

6. 第 7 回日本シミュレーション医療教育学会学術大会

会期:2019 年 9 月 21 日(土)
主催:日本シミュレーション医療教育学会
大会長:藤倉　輝道(日本医科大学医学教育センター　教授)
会場:日本医科大学　千駄木校舎教育棟

7. 第 39 回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会総会

会期:2019 年 10 月 9 日(月)～11 日(水)
主催:日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会
大会長:吾妻　安良太(日本医科大学呼吸器内科　教授)
会場:パシフィコ横浜　会議センター

8. 第 40 回日本アフェレシス学会学術大会

会期:2019 年 10 月 17 日(木)～20 日(日)
主催:日本アフェレシス学会
大会長:遠藤　善裕(滋賀医科大学医学部看護学科　臨床看護学講座　教授)
会場:国立京都国際会館

9. 第 9 回日本在宅看護学会学術集会

会期:2019 年 12 月 7 日(土)～8 日(日)
主催:日本在宅看護学会
大会長:佐野　けさ美(東京大学工学系研究科)・椎名　美恵子（訪問看護ステーションみけ）
会場:東京都看護協会会館

個人助成

1．日本版ホスピタリスト助成（長期）助成者

No.	氏　名	1)現職 2)出身大学（卒業年）	1)希望分野 2)予定施設･研修身分･指導者 3)予定期間	推薦者
1	北野　泰斗	1)奈良県立医科大学附属病院 小児科 後期研修医 2)奈良県立医科大学 （2014年卒） ジョンズホプキンス公衆衛生大学院 （2018年卒）	1)Infectious Diseases（小児感染症） 2)The Hospital for Sick Children, Toronto Clinical Fellow Anupma Wadhwa, M.D., (Program Director) 3)出発予定　2019年6月24日 研修開始　2019年7月1日 帰国予定　2021年7月1日、 2年	1)吉田　さやか 奈良県総合医療センター 小児科 部長 2)嶋　緑倫 奈良県立医科大学附属病院 小児科 教授
2	新道　悠	1)天草市立牛深市民病院 内科 医師 2)千葉大学医学部 （2012年卒）	1)Internal Medicine 2)Mount Sinai Beth Israel Medical Center Resident Michael Leitman, M.D., F.A.C.S. Dean for Graduate Medical Education 3)出発予定　2019年6月20日 研修開始　2019年7月1日 帰国予定　2022年6月30日、 3年	1)吉田　伸 頴田病院 家庭医療プログラム 指導医 2)本田　宜久 頴田病院 院長
3	髙城　大治	1)横須賀米海軍病院 小児科 インターン 2)防衛医科大学校 （2015年卒）	1)小児科 2)Children's Hospital of Michigan Resident Physician Lynn C. Smitherman (Program Director) 3)出発予定　2019年6月1日 研修開始　2019年7月1日 帰国予定　2021年6月30日、 3年	1)園田　健人 University of Pittsburgh Medical Center Shadyside Hospital Resident, Family medicine 2)小林　大介 Children's Hospital of Michigan Associate professor of pediatric cardiology

2. 日本版ホスピタリスト助成（短期）助成者

No.	氏　名	1)現職 2)出身大学（卒業年）	1)希望分野 2)予定施設･研修身分･指導者 3)予定期間	推薦者
1	佐藤　直行	1)ハートライフ病院 総合内科 常勤医 2)神戸大学 （2011年卒）	1)米国におけるHospitalistの役割を学ぶ 2)University of Michigan Short term visitor 3)出発予定　2019年10月5日 帰国予定　2019年10月13日、 9日	1)徳田　安春 群星沖縄臨床研修センター センター長 2)金城　紀与史 沖縄県立中部病院 総合内科　内科副部長 研修管理委員会委員長
2	加瀬　早織	1)東京医科歯科大学 医学部附属病院 臨床研修医 2)東京医科歯科大学 （2017年卒）	1)Hospitalist視察 2)Barnes Jewish Hospital at Washington University School of Medicine in St. Louis Observer 3)出発予定　2019年4月21日 帰国予定　2019年5月19日、 28日	1)竹村　洋典 東京医科歯科大学 全人的医療開発学講座 総合診療医学分野 教授 2)Roland Eavey, M.D. Vanderbilt Medical Center Chair and Professor of Otolaryngology
3	鈴木　森香	1)国立病院機構 仙台医療センター 2)東京医科大学医学部 （2009年卒） 東京医科大学大学院 （2015年卒）	1)ホスピタリスト研修 2)The Queen's Medical Center Observer 3)出発予定　2020年1月11日 帰国予定　2020年1月31日、 20日	1)徳田　安春 群星沖縄臨床研修センター センター長 2)志水　太郎 獨協医科大学病院 総合診療科 主任教授
4	井口　遼	1)国立病院機構 静岡医療センター 救急総合診療科 2)新潟大学医学部 （2015年卒）	1)ホスピタリストの実務の研修 2)St. Louis University Observer 3)出発予定　2020年2月8日 帰国予定　2020年3月1日、 21日	1)石山　貴章 St. Louis University Hospitalist 2)斎藤　昭彦 新潟大学医学部医学科 小児科教授
5	藤井　真	1)杏嶺会 一宮西病院 救急科 2)広島大学医学部 （2014年卒）	1)Hospitalist Medicine as a short-team observer 2)The Queen's Medical Center Observer 3)出発予定　2020年2月9日 帰国予定　2020年2月25日、 14日 **新型コロナウイルスの影響により 出発延期、時期は未定（2020.5.12現在）**	1)安藤　裕貴 杏嶺会 一宮西病院 救急科医長 2)青木　眞 感染症コンサルタント
6	大屋　聖郎	1)国立病院機構 静岡医療センター 救急科部長 2)福岡大学医学部 （2004年卒）	1)Hospitalist Medicine as a short-team observer 2)University of Michigan Observer 3)出発予定　2020年3月9日 帰国予定　2020年3月21日、 12日 **新型コロナウイルスの影響により 出発延期、時期は未定（2020.5.12現在）**	1)小林　恵一 St. Luke's Clinic 院長 2)Mohamud Daya Oregon Health & Science University Professor

3. 医学部夏期集中医学英語研修

応募者 ： 17名

合格者 ： 14名（書類審査による選考）

期　間 ： 2019年8月12日（月）～17日（土）（6日間）

主催及び研修場所 ： Hawaii Tokai International College（HTIC）

協　力：神戸大学医学部、東海大学医学部

No.	氏　名	所　属　先	No.	氏　名	所　属　先
1	和田　萌子	順天堂大学（5 年）	8	吉川　洋佳	東京慈恵会医科大学（5 年）
2	織田　彩花	東京女子医科大学（5 年）	9	川井　恵	筑波大学（5 年）
3	青山　徹	慶應義塾大学（5 年）	10	伊吹　知真	愛媛大学（5 年）
4	森川　遥香	琉球大学（5 年）	11	佐藤　真子	昭和大学（5 年）
5	若槻　実祐	東京女子医科大学（5 年）	12	加藤　幹也	名古屋大学（5 年）
6	木下　智貴	福井大学（5 年）	13	塚本　大志	徳島大学（5 年）
7	山下　知子	帝京大学（5 年）	14	飯田　俊典	慶應義塾大学（5 年）

4. アメリカ短期看護研修

応募者 ： 9名

合格者 ： 8名（書類審査による選考）

期　間 ： 2019年10月27日（日）～11月2日（土）（7日間）

受入機関：ポートランド州立大学（PSU）

企画・実施 ：株式会社トラベル・パートナーズ

No.	氏　名	所　属　先	No.	氏　名	所　属　先
1	梅野　華乃子	早稲田大学大学院	5	彦坂　菜摘	鳴海クリニック
2	橋本　早紀	平針記念クリニック	6	鬼頭　成美	鳴海クリニック
3	青島　友香	聖隷浜松病院	7	山岡　由佳	愛媛県立中央病院
4	太田　雅子	聖隷浜松病院	8	森本　尚子	厚生連高岡病院

第 20 回 医学留学セミナー
世界に羽ばたく医師・医学研究者

日時：2019 年 11 月 2 日（土）12:45～16:50　　主催：公益財団法人日米医学医療交流財団
場所：名古屋大学　東山キャンパス　　共催：名古屋大学
　　シンポジオン会議室（1 階）
後援：文部科学省、厚生労働省、（公社）日本医師会、（公社）日本看護協会、（公社）日本薬剤師会
コーディネーター
　　粕谷英樹（名古屋大学大学院医学系研究科　国際医学教育学　教授）
　　小池　薫（JANAMEF 理事／京都大学大学院医学研究科　初期診療・救急医学　教授）

2019 年 11 月 2 日（土）、医学留学セミナー《世界に羽ばたく医師・医学研究者》が名古屋大学で開催され、登壇者 10 名、受講生 129 名（医学生 57 名、研修医 6 名、医師 14 名、高校生 36 名、その他 16 名）合わせて 139 名が参加しました。

＜第1部　海外で活躍する医師・研究者になるために＞は、国際医療福祉大学医学部　医学教育統括センター　押味貴之准教授による「医療現場で使える英語力と USMLE の準備」では、①医学英語を身につける最適な道は医学を英語で学べばよいこと、②USMLE 受験前の米国臨床留学の重要性、③Step1、2 合格に必要な学修方法につき、具体的に解説していただきました。次の名古屋大学大学院医学系研究科　呼吸器内科　富貴原淳先生による「大学院での Joint Degree Program (JDP)を経験して　(JDP：日本と海外の2大学から博士号を取得するプロクラム)」では、名古屋大学とアデレード大学（オーストラリア）で各 1 年以上の博士研究を行なって、卒業時に両大学から共同学位を授与される予定の大学院生の立場から、留学の意義についてお話いただきました。また、名古屋第二赤十字病院　脳神経外科　布施佑太郎先生による「6年生の海外臨床実習を経験して」では、学生時代と卒業後に留学した経験から、学生時代に医学留学する時に越えるべきハードルと留学後に見える景色について、自身のストーリーを通じて紹介していただきました。

＜第2部　海外で医学研究者、医師として働く＞は、藤田医科大学　微生物学　土井洋平教授の「米国で医学研究者として働く」では、アメリカで 10 年以上、医学研究を本職、診療を副職として過ごしてきた経験から、医学留学を様々な角度から解説。ミズーリ大学医学部　循環器内科　平井大士助教の「米国で医師として働くーレジデントと教員を経験してー」では、アメリカでインターベンション医になるまでの道のりや、ミズーリ大学での指導医としての仕事を紹介していただき、海外留学を考えている若者達に刺激を与えていただきました。

＜第3部　総合討論＞は、会場で事前に配布された質問用紙に質問事項を記載するという方式を取り入れましたが、質問内容は多岐にわたり、50 分間の質疑応答は熱気に満ちたものとなりました。

最後に、名古屋大学大学院医学系研究科長・医学部長　門松健治教授による閉会の辞があり、セミナーは盛会のうちに終了しました。セミナー終了後に行った受講生へのアンケートでは、高校生が多数参加したにも関わらず「非常に有意義」と「有意義」の合計が 86％となり、参加者の満足度の高さが裏付けられました。今回のセミナーには、東は東京・千葉から南は沖縄まで、全国から医学生達が参集し、中には東京から駆けつけた高校生も見受けられました。閉会後の懇親会でも多数の参加者が講師を取り囲み、とても有意義なセミナーとなりました。

公益財団法人 日米医学医療交流財団

２０１９年　医学医療交流セミナー　　共催：名古屋大学大学院医学系研究科・医学部

世界に羽ばたく医師・医学研究者

日時：　２０１９年１１月２日（土）12：45～16：50（12：15 受付開始）

会場：　名古屋大学　東山キャンパス　シンポジオン会議室（１階）

― プログラム ―

(09:00～11:45)　**高校生のみ**　名古屋大学医学部附属病院内ツアー【集合場所別途案内】
名古屋大学大学院医学系研究科　国際医学教育学　国際連携室　粕谷　英樹

12:45～13:00　**開会の辞**　名古屋大学大学院医学系研究科長・医学部長　門松　健治
（公財）日米医学医療交流財団　会長　黒川　清

13:00～14:35　**第１部　海外で活躍する医師・研究者になるために**
【司会】名古屋大学大学院医学系研究科長・医学部長　門松　健治
財団顧問／愛知医科大学　特命教授　医学教育センター長　伴　信太郎

13:00～13:45　**●医療現場で使える英語力とUSMLEの準備**
【講師】国際医療福祉大学医学部　医学教育統括センター 准教授　押味　貴之

13:45～14:05　**●大学院でのJoint Degree Program (JDP)を経験して**
（JDP：日本と海外の２大学から博士号を取得するプログラム）
【講師】名古屋大学大学院医学系研究科　呼吸器内科　富貴原　淳

14:05～14:35　**●６年生の海外臨床実習を経験して**
【講師】半田市立半田病院　脳神経外科　布施佑太郎

― 休憩（１０分）―

14:45～14:55　**留学に関するご案内**　（公財）日米医学医療交流財団　専務理事　宇田　左近

14:55～15:45　**第２部　海外で医学研究者、医師として働く**
【司会】財団会員／名古屋大学大学院医学系研究科　国際医学教育学　教授　粕谷　英樹
財団委員／国際医療福祉大学医学部 教授 医学教育統括センター長　赤津　晴子

14:55～15:25　**●米国で医学研究者として働く**
【講師】藤田医科大学　微生物学　教授　土井　洋平

15:25～15:45　**●米国で循環器医師として働いて**
【講師】ミズリー大学医学部　循環器内科　助教　平井　大士

― 休憩（１０分）―

15:55～16:45　**第３部　総合討論（質問票を基にディスカッション）**
【司会】赤津　晴子、押味　貴之、粕谷　英樹

16:45～16:50　**閉会の辞**　（公財）日米医学医療交流財団　理事長　清水　一功

17:00～18:30　**懇親会**　名古屋大学　東山キャンパス　シンポジオン２階　ユニバーサルクラブ

茨城県指導医団国外派遣事業支援業務実施報告

財団では、医学医療の国際交流を支援してきたこれまでの実績をもとに、地方公共団体に対する支援業務として、6 回目の茨城県指導医団国外派遣事業支援業務を実施しました。本事業は、茨城県内の指導医の更なる指導能力の向上を図るため、意欲ある指導医団を米国（ハワイ）に派遣し、当地の医療現場や医療施設などで、先進的な指導・教育方法を学ぶものです。財団では、派遣プログラムの作成からその実施まで一貫した業務を支援しました。その概要を以下のとおり報告します。

研修期間： 2019 年 10 月 29 日（火）～11 月 7 日（木）（8 泊 10 日間）
研 修 地： 米国ハワイ州ホノルル市
主　　催： 茨城県保健福祉部医療対策課医師確保対策室
企画・実施支援： 公益財団法人 日米医学医療交流財団

支援業務の概要

●事業の目的

県内の指導医の更なる指導能力の向上を図るため、意欲ある指導医団を結成し、世界標準の先進的な指導・教育に取り組んでいる米国（ハワイ）に派遣することで、スキルの向上と県内研修体制の強化を推進し、「若手医師教育研修立県」としてのイメージの向上及び医師の県内定着を目的とする。

●受託業務の内容

① 指導医団国外派遣プログラムの作成
② 出発前の準備（オリエンテーションを含む）
③ 派遣先でのプログラムの実施
④ 必要物品並びに手続きの手配及び支払い

●支援期間

2019 年（令和元年）5 月 10 日～2020 年（令和 2 年）1 月 31 日

●主な研修内容

① 外来・救急等でのレジデントへの指導方法
② ベッドサイドにおけるレジデントへの指導方法
③ カンファレンスにおける指導方法
④ 医師のプロフェッショナリズム（マナー・接遇・倫理）

プログラムの主な内容

●聖ルカ・クリニック研修（プライマリーケアのシャドーイング）
●ワイキキ緊急医療クリニック研修（救急外来のシャドーイング）
●クリニカルティーチングワークショップ（Problem-Based Learning）2 日間（レジデントへの指導方法やノウハウをレクチャー）
●クイーンズメディカルセンター
レジデント教育システム、レジデントのオリエンテーション視察、レジデント病棟回診、
レジデント教育についてのレクチャー

●カピオラニコミュニティーカレッジ（KCC）
Health Science Programs Tour（コメディカルの学部視察）
●ハワイ大学・ジョン A.バーンズ医学、SimTiki シミュレーションセンター：シミュレーション教育
●ハワイ大学・ジョン A.バーンズ医学部教授よりレクチャー、米国の医学教育システムについて
●レジデント（JANAMEF Fellow）訪問＆日・ハワイ医療交流
●Castle Medical Center（病院視察）

Ⅲ. 2019年度評議員会・理事会議事

第1回　定時理事会

日時:2019 年 5 月 23 日(木)　17:00～18:00

場所:財団事務所会議室

審議事項

1. 2018 年度事業報告について
2. 2018 年度決算報告について
3. 次回評議員会について
4. 広報委員会設立について
5. 資産運用について

報告事項

1.　2019 年度事業執行状況について
2.　次期評議員会開催日、臨時理事会開催日について

第1回 定時評議員会

日時:2019 年 6 月 15 日(金)　16:00～16:50

場所:財団事務所会議室

審議事項

1. 2018 年度事業報告の承認
2. 2018 年度決算報告の承認
3. 理事の選任

報告事項

1. 2019 年度事業執行状況について

第2回　臨時理事会

日時:2019 年 6 月 15 日(土)　17:00～17:30

場所:ホテル東京ガーデンパレス 「平安の間 B」

審議事項

1. 役付理事の選定
2. 顧問の選任
3. 広報委員会規則の制定
4. 各委員会の委員の選出
5. 次回評議員会について

報告事項

1. 2019 年度茨城県指導医団ハワイ派遣事業の契約締結
2. 2019 年度医学部夏期集中医学英語研修助成の応募状況
3. 病院長クラスセミナー(仮称)の 9 月開催
4. 保有資産の入れ替え

第3回　定時理事会

日時:2019 年 9 月 13 日(金)　19:00～20:30

場所:財団事務所会議室

審議事項

1. 基本財産の取り崩しについて
2. 役員立候補手続規則の改定について
3. 臨時評議員会の招集について

報告事項

1. ウェブサイトの改定状況について
2. 次回理事会開催日について

第2回 臨時評議員会

日時:2019 年 10 月 8 日(火)　15:00～16:00

場所:財団事務所会議室

審議事項

1. 基本財産取り崩しの件
2. 監事選任の件

報告事項

1. 2019 年度事業執行状況について

第4回　定時理事会　(新型コロナウイルスの影響により、決議の省略)

日時:2020 年 3 月 23 日(月)

場所:電磁的記録により同意の意思表示

審議事項

1. 2020 年度事業計画案の承認
2. 2020 年度収支予算案の承認
3. 次回定時評議員会開催日程について

報告事項

1. 2020 年度各会議予定日について
2. メディア掲載記事紹介

第3回 定時評議員会　(新型コロナウイルスの影響により、報告の省略)

日時:2020 年 3 月 25 日(水)

場所:電磁的記録により確認

報告事項

1. 2020 年度事業計画案
2. 2020 年度収支予算案

Ⅳ. 組 織

1. 顧問・評議員・役員名簿（顧問 5 名、評議員 9 名、理事 15 名、監事 2 名）

役　職	氏　　名	職　　業　（所　　属・役　　職　）
顧　　問	小玉　正智	滋賀医科大学 名誉教授
	髙久　史麿	公益社団法人地域医療振興協会 会長
	伴　信太郎	愛知医科大学 特命教授 医学教育ｾﾝﾀｰ長、ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ長
	牧野　治郎	一般社団法人日本損害保険協会 副会長
	横倉　義武	公益社団法人日本医師会 会長
評 議 員	井上　大輔	日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科 教授、旭川大学 客員教授
	岩井　一宏	京都大学大学院医学研究科長・医学部長
	大瀧　守彦	日本特殊陶業株式会社 取締役
	栗原　　敏	学校法人慈恵大学 理事長
	小林　恵一	ハワイ 聖ルカ・クリニック 院長、神戸大学医学部 臨床教授
	呉屋　朝幸	杏林大学 名誉教授、善仁会小山記念病院 顧問
	立川　幸治	大阪紙業株式会社 代表取締役社長
	鳥羽　　董	百農社国際有限公司（香港） 特別顧問
	新浪　剛史	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長
会　　長	黒川　　清	日本医療政策機構 代表理事
理 事 長	清水　一功	社会福祉法人ロングライフ小諸 理事長
		医療法人社団御代田中央記念病院 理事長
専務理事	宇田　左近	ビジネス・ブレークスルー大学 副学長
理　　事	遠藤　直哉	弁護士法人フェアネス法律事務所 代表弁護士
	小池　　薫	京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野 教授
	小山　　勇	学校法人埼玉医科大学 常務理事
		埼玉医科大学国際医療センター 名誉病院長
	髙瀬　義昌	医療法人社団至髙会 たかせクリニック 理事長
	髙田　和生	東京医科歯科大学 統合国際機構 教授・副機構長
	髙本　眞一	慶應義塾大学医学部 医療政策管理学教室 訪問教授
	徳田　安春	群星沖縄臨床研修センター センター長
	野村　　実	東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室 教授
	福井　トシ子	公益社団法人日本看護協会 会長
	松村　理司	洛和会ヘルスケアシステム 総長
	山下　雅知	帝京大学ちば総合医療センター ER センター長・教授
	山本　信夫	公益社団法人日本薬剤師会 会長
監　　事	池田　俊也	国際医療福祉大学医学部 副学部長 教授
	伊藤　信彦	浦和税理士法人 代表社員

＊50 音順

2. 委員名簿

(1)学術委員名簿(15名)

役　職	氏　　名	職　　業　(所　　属・役　　職　)
委員長	髙本　眞一	慶應義塾大学医学部 医療政策管理学教室 訪問教授
委　　員	芦田　ルリ	東京慈恵会医科大学 教授 国際交流センター長
	天谷　雅行	慶應義塾大学 医学部長
	池田　俊也	国際医療福祉大学医学部 副学部長 教授
	井上　大輔	日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科 教授、旭川大学 客員教授
	宇田　左近	ビジネス・ブレークスルー大学 副学長
	久保　惠嗣	地方独立行政法人長野県立病院機構 理事長
	髙田　和生	東京医科歯科大学 統合国際機構 教授・副機構長
	田中　雄二郎	東京医科歯科大学 理事・副学長
	錦見　尚道	名古屋第一赤十字病院 院長
	橋本　正良	埼玉医科大学 総合診療内科学 教授
	福井　トシ子	公益社団法人日本看護協会 会長
	古川　俊治	参議院議員、慶應義塾大学法科大学院教授・医学部外科教授、TMI 総合法律事務所 弁護士
	宮﨑　　隆	昭和大学 副学長・統括研究推進センター長・国際交流センター長
	山本　信夫	公益社団法人日本薬剤師会 会長

＊50 音順

(2)選考委員名簿(10名)

役　職	氏　　名	職　　業　(所　　属・役　　職　)
委員長	小池　　薫	京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野 教授
委　　員	青木　　眞	感染症コンサルタント
	赤津　晴子	国際医療福祉大学医学部 教授、医学教育統括センター長、成田キャンパス国際交流センター長
	上塚　芳郎	東京女子医科大学附属成人医学センター所長・特任教授
	小林　恵一	ハワイ 聖ルカ・クリニック 院長、神戸大学医学部 臨床教授
	阪井　裕一	埼玉医科大学総合医療センター 小児科 教授
	D.サターホワイト	CIEE 京都 センターディレクター
	中島　康雄	聖マリアンナ医科大学 名誉教授 画像相談クリニック 院長
	橋本　正良	埼玉医科大学 総合診療内科学 教授
	松村　理司	洛和会ヘルスケアシステム 総長

＊50 音順

(3)企画開発委員名簿(7名)

役　職	氏　　名	職　　業　(所　　属・役　　職　)
委員長	野村　実	東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室 教授
委　　員	宇田 左近	ビジネス・ブレークスルー大学 副学長
	遠藤 直哉	弁護士法人フェアネス法律事務所 代表弁護士
	小池　薫	京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野 教授
	小山　勇	学校法人埼玉医科大学 常務理事
		埼玉医科大学国際医療センター 名誉病院長
	呉屋 朝幸	杏林大学 名誉教授、善仁会小山記念病院 顧問
	髙瀬 義昌	医療法人社団至髙会 たかせクリニック 理事長

(4)広報委員名簿(7名)

役　職	氏　　名	職　　業　(所　　属・役　　職　)
委員長	髙瀬 義昌	医療法人社団至髙会 たかせクリニック 理事長
委　　員	青木　眞	感染症コンサルタント
	宇田 左近	ビジネス・ブレークスルー大学 副学長
	加藤良太朗	板橋中央総合病院 院長・総合診療科 主任部長
	徳田 安春	群星沖縄臨床研修センター センター長
	松澤　香	三浦法律事務所 弁護士
	山下 雅知	帝京大学ちば総合医療センター ER センター長・教授

＊50 音順

3. 事務局

現在事務局は、常勤職員 2 名と非常勤職員 2 名で対応している。

Ⅴ. 事業報告の附属明細書

2019 年(令和元年)度事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

2019年(令和元年)度 決算報告書

2019 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日

2020 年 6 月 20 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

2019年(令和元年)度決算報告書

目　　次

2019年度 決算報告書 ---------- 1

貸借対照表 ---------- 1

正味財産増減計算書 ---------- 2

正味財産増減内訳書 ---------- 3

財務諸表に対する注記 ---------- 4

附属明細書 ---------- 6

財産目録 ---------- 7

監査報告書 ---------- 8

2019 年度決算における公益認定の財務 3 基準の適合状況 ---------- 9

2019年度 決算報告書

貸　借　対　照　表

令和2年（2020年）3月31日　現在

（単位：円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金及び預金	12,856,976	22,082,639	−9,225,663
流動資産合計	12,856,976	22,082,639	−9,225,663
2．固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	386,510,000	420,989,758	−34,479,758
普通預金	19,300,000	4,300,000	15,000,000
基本財産合計	405,810,000	425,289,758	−19,479,758
(2) 特定資産			
環太平洋ｱｼﾞｱﾌｧﾝﾄﾞ	44,734,000	46,150,000	−1,416,000
特定資産合計	44,734,000	46,150,000	−1,416,000
(3) その他固定資産			
保証金	1,002,858	1,002,858	0
一括償却資産	0	40,644	−40,644
その他の固定資産合計	1,002,858	1,043,502	−40,644
固定資産合計	451,546,858	472,483,260	−20,936,402
資産合計	464,403,834	494,565,899	−30,162,065
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金	0	3,273,300	−3,273,300
前受金	1,055,000	470,000	585,000
学会寄附前受金	9,190,000	11,580,000	−2,390,000
預り金	108,810	399,245	−290,435
流動負債合計	10,353,810	15,722,545	−5,368,735
2．固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	10,353,810	15,722,545	−5,368,735
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
寄附金	44,734,000	46,150,000	−1,416,000
（うち特定資産への充当額）	(44,734,000)	(46,150,000)	1,416,000
2．一般正味財産	409,316,024	432,693,354	−23,377,330
（うち基本財産への充当額）	(405,810,000)	(425,289,758)	19,479,758
正味財産合計	454,050,024	478,843,354	−24,793,330
負債及び正味財産合計	464,403,834	494,565,899	−30,162,065

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成31年（2019年）4月1日から令和2年（2020年）3月31日まで

（単位：円）

科　目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,703,337	7,761,397	−58,060
基本財産受取利息	7,703,337	7,761,397	−58,060
特定資産運用益	682,000	682,000	0
特定資産受取利息	682,000	682,000	0
受取会費	11,260,000	10,730,000	530,000
賛助会員受取会費	11,260,000	10,730,000	530,000
事業収益	234,000	2,833,000	−2,599,000
セミナー収益	234,000	388,000	−154,000
フェロー事業収益	0	2,445,000	−2,445,000
受取補助金等	500,000	500,000	0
受取民間助成金	500,000	500,000	0
受取寄附金	24,283,397	9,771,617	14,511,780
受取寄附金	6,953,397	3,724,617	3,228,780
受取学会寄附金	15,530,000	4,197,000	11,333,000
受取寄附金振替額	1,800,000	1,850,000	−50,000
受託収入	5,469,668	5,334,828	134,840
海外派遣支援業務受託収入	4,469,669	5,334,828	−865,159
トップランナー育成留学支援事業受託収入	999,999	0	999,999
雑収益	10,840	180,327	−169,487
受取利息	340	327	13
雑収益	10,500	180,000	−169,500
経常収益計	50,143,242	37,793,169	12,350,073
(2) 経常費用			0
事業費	42,476,249	36,547,420	5,928,829
個人助成費	6,800,000	7,550,000	−750,000
団体助成費	13,977,000	3,777,300	10,199,700
セミナー費	612,773	532,118	80,655
委員会費	359,347	377,162	−17,815
給与手当	9,970,091	9,444,289	525,802
法定福利費	1,068,289	1,170,798	−102,509
資料印刷費	1,815,124	262,044	1,553,080
通信運搬費	419,806	335,665	84,141
旅費交通費	1,757,865	2,125,921	−368,056
租税公課	2,400	2,400	0
賃借料	573,335	732,013	−158,678
支払手数料	160,708	139,868	20,840
消耗品費	25,010	0	25,010
地代家賃	1,905,674	1,885,308	20,366
水道光熱費	349,662	258,983	90,679
諸謝金	2,466,681	2,345,982	120,699
業務委託費	9,676	16,480	−6,804
損害保険料	45,920	57,400	−11,480
フェロー事業費	57,018	5,393,934	−5,336,916
雑費	99,870	139,755	−39,885
管理費	17,275,565	17,613,724	−338,159
役員報酬	50,000	70,000	−20,000
給与手当	6,853,092	8,564,290	−1,711,198
法定福利費	1,068,290	1,170,799	−102,509
会議費	360,737	122,750	237,987
資料印刷費	1,822,220	202,500	1,619,720
通信運搬費	189,557	176,330	13,227
旅費交通費	642,612	633,473	9,139
租税公課	306,000	1,730	304,270
賃借料	573,335	732,014	−158,679
支払手数料	71,738	73,332	−1,594
消耗品費	294,858	357,008	−62,150
地代家賃	1,905,675	1,885,308	20,367
水道光熱費	349,663	258,984	90,679
諸謝金	51,300	41,580	9,720
業務委託費	2,473,724	3,074,144	−600,420
損害保険料	113,820	73,500	40,320
減価償却費	40,644	40,644	0
雑費	108,300	135,338	−27,038
経常費用計	59,751,814	54,161,144	5,590,670
評価損益調整前経常増減額	−9,608,572	−16,367,975	6,759,403
投資有価証券評価損益等	−13,768,758	−13,351,000	−417,758
評価損益	−13,768,758	−13,351,000	−417,758
当期経常増減額	−23,377,330	−29,718,975	6,341,645
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
前期補助金調整額	0		0
経常外費用計	0		0
当期経常外増減額	0		0
当期一般正味財産増減額	−23,377,330	−29,718,975	6,341,645
一般正味財産期首残高	432,693,354	462,412,329	−29,718,975
一般正味財産期末残高	409,316,024	432,693,354	−23,377,330
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0
特定資産評価益	384,000	−1,424,000	1,808,000
一般正味財産への振替額	−1,800,000	−1,850,000	50,000
当期指定正味財産増減額	−1,416,000	−3,274,000	1,858,000
指定正味財産期首残高	46,150,000	49,424,000	−3,274,000
指定正味財産期末残高	44,734,000	46,150,000	−1,416,000
Ⅲ　正味財産期末残高	454,050,024	478,843,354	−24,793,330

正 味 財 産 増 減 内 訳 書

平成31年(2019年)4月1日から令和2年(2020年)3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,851,668	3,851,669		7,703,337
基本財産受取利息	3,851,668	3,851,669		7,703,337
特定資産運用益	682,000	0		682,000
特定資産受取利息	682,000	0		682,000
受取会費	5,630,000	5,630,000		11,260,000
賛助会員受取会費	5,630,000	5,630,000		11,260,000
事業収益	234,000	0		234,000
セミナー収益	234,000	0		234,000
フェロー事業収益	0	0		0
受取補助金等	500,000	0		500,000
受取民間助成金	500,000	0		500,000
受取寄附金	20,806,698	3,476,699		24,283,397
受取寄附金	3,476,698	3,476,699		6,953,397
受取学会寄附金	15,530,000	0		15,530,000
受取寄附金振替額	1,800,000	0		1,800,000
受取補助金等	5,469,668	0		5,469,668
海外派遣支援業務受託収入	4,469,669	0		4,469,669
トップランナー育成留学支援	999,999	0		999,999
雑収益	10,670	170		10,840
受取利息	170	170		340
雑収益	10,500	0		10,500
経常収益計	37,184,704	12,958,538		50,143,242
(2) 経常費用				
事業費	42,476,249			42,476,249
個人助成費	6,800,000	0		6,800,000
団体助成費	13,977,000	0		13,977,000
セミナー費	612,773	0		612,773
委員会費	359,347	0		359,347
給与手当	9,970,091	0		9,970,091
法定福利費	1,068,289	0		1,068,289
資料印刷費	1,815,124	0		1,815,124
通信運搬費	419,806	0		419,806
旅費交通費	1,757,865	0		1,757,865
租税公課	2,400	0		2,400
賃借料	573,335	0		573,335
支払手数料	160,708	0		160,708
消耗品費	25,010	0		25,010
地代家賃	1,905,674	0		1,905,674
水道光熱費	349,662	0		349,662
諸謝金	2,466,681	0		2,466,681
業務委託費	9,676	0		9,676
損害保険料	45,920	0		45,920
フェロー事業費	57,018	0		57,018
雑費	99,870	0		99,870
管理費	0	17,275,565		17,275,565
役員報酬	0	50,000		50,000
給与手当	0	6,853,092		6,853,092
法定福利費	0	1,068,290		1,068,290
会議費	0	360,737		360,737
資料印刷費	0	1,822,220		1,822,220
通信運搬費	0	189,557		189,557
旅費交通費	0	642,612		642,612
租税公課	0	306,000		306,000
賃借料	0	573,335		573,335
支払手数料	0	71,738		71,738
消耗品費	0	294,858		294,858
地代家賃	0	1,905,675		1,905,675
水道光熱費	0	349,663		349,663
諸謝金	0	51,300		51,300
業務委託費	0	2,473,724		2,473,724
保険料	0	113,820		113,820
減価償却費		40,644		40,644
雑費	0	108,300		108,300
経常費用計	42,476,249	17,275,565		59,751,814
評価損益調整前経常増減額	−5,291,545	−4,317,027		−9,608,572
投資有価証券評価損益等	−6,884,379	−6,884,379		−13,768,758
評価損益等計	−6,884,379	−6,884,379		−13,768,758
当期経常増減額	−12,175,924	−11,201,406		−23,377,330
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	−12,175,924	−11,201,406		−23,377,330
一般正味財産期首残高	206,806,839	225,886,515		432,693,354
一般正味財産期末残高	194,630,915	214,685,109		409,316,024
Ⅱ 指定正味財産増減の部				0
特定資産評価損益	384,000	0		384,000
一般正味財産への振替額	−1,800,000	0		−1,800,000
当期指定正味財産増減額	−1,416,000	0		−1,416,000
指定正味財産期首残高	46,150,000	0		46,150,000
指定正味財産期末残高	44,734,000	0		44,734,000
Ⅲ 正味財産期末残高	239,364,915	214,685,109		454,050,024

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針
重要な会計方針は、次のとおりである
「公益法人会計基準」(平成20年月11、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1)有価証券評価基準及び評価方法

期末日の市場価格等に基づく時価法によっている

2)固定資産の減価償却の方法

一括償却資産として3年で償却している。

3)消費税等の会計処理
税込方法によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	4,300,000	20,000,000	5,000,000	19,300,000
有価証券	420,989,758	32,910,000	67,389,758	386,510,000
小計	425,289,758	52,910,000	72,389,758	405,810,000
特定資産				
環太平洋アジアファンド	46,150,000	384,000	1,800,000	44,734,000
小計	46,150,000	384,000	1,800,000	44,734,000
合計	471,439,758	53,294,000	74,189,758	450,544,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	19,300,000		(19,300,000)	
有価証券	386,510,000	0	(386,510,000)	0
小計	405,810,000	0	(405,810,000)	0
特定資産				
環太平洋アジアファンド	44,734,000	(44,734,000)	0	0
小計	44,734,000	(44,734,000)	0	0
合計	450,544,000	(44,734,000)	(405,810,000)	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
一括償却資産			
パソコン	121,932	121,832	0

5 満期保有目的有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的有価証券の内訳並び帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄		取得価額	時価	評価損益
基本財産	ダイワ　外国債＃8055	100,000,000	101,910,000	1,910,000
	5 ソシエテG劣後FR	160,000,000	161,536,000	1,536,000
	52　ソフトバンクグループ	100,000,000	93,600,000	△ 6,400,000
	SUPICA 1905-S08	40,000,000	29,464,000	△ 10,536,000
	小計	400,000,000	386,510,000	△ 13,490,000
特定資産	5 ソシエテG劣後FR	40,000,000	40,384,000	384,000
	合計	440,000,000	426,894,000	△ 13,106,000

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	当期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国際交流助成小規模研究会助成	公益財団法人テルモ科学技術振興財団	0	500,000	500,000	0
合　　計		0	500,000	500,000	0

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　　容	金　　額
経常収益への振替額	1,800,000

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2 引当金の明細
該当なし。

財 産 目 録

令和2年（2020年）3月31日　現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）			
現金及び預金	現金手持有高	運転資金	24,076
	普通預金　りそな銀行　本郷支店	同　　上	2,041,942
	普通預金　りそな銀行　本郷支店	同　　上	9,180,020
	普通預金　りそな銀行　本郷支店	同　　上	76,148
	普通預金　りそな銀行　本郷支店	同　　上	150,014
	普通預金　みずほ銀行　四谷支店	同　　上	224,303
	普通預金　三菱UFJ銀行　本郷支店	同　　上	7,097
	郵便振替口	同　　上	335,044
	郵便通常貯金	同　　上	83,292
	定期預金　三井住友銀行　麹町支店	同　　上	735,040
現金及び預金計			12,856,976
流動資産合計			12,856,976
（固定資産）			
基本財産		運用益を公益目的保有財産50% 管理目的50%として使用する	
普通預金	りそな銀行　本郷支店	同　　上	19,300,000
有価証券	SPICA1905-S08フロート	同　　上	29,464,000
	ダイワ　外国債＃8055	同　　上	101,910,000
	5　ソシエテG　劣後FR	同　　上	161,536,000
	52　ソフトバンクグループ	同　　上	93,600,000
基本財産計			405,810,000
特定資産			
環太平洋アジアファンド	5　ソシエテG　劣後FR	環太平洋アジアの派遣・研究助成事業の財産	40,384,000
	普通預金　りそな銀行　本郷支店	同　　上	4,350,000
特定資産計			44,734,000
その他固定資産			
敷　　金	本郷デントビル事務所敷金	事務所賃貸に際しての敷金	1,002,858
その他固定資産計			1,002,858
固定資産合計			451,546,858
資産合計			464,403,834
（流動負債）			
前受金	2020年度賛助会費他		1,055,000
学会寄附金前受金	日本アレルギー学会		9,180,000
	在宅看護学会		10,000
預り金	源泉税		108,810
流動負債合計			10,353,810
負債合計			10,353,810
正味財産			454,050,024

監　査　報　告　書

公益財団法人日米医学医療交流財団
会 長　　黒川　清　殿

2020 年(令和 2 年) 5 月 12 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

監 事　池田 俊也

監 事　伊藤 信義

私ども監事は、法令及び定款に基づき、2019 年(平成 31 年)4 月 1 日から 2020 年(令和 2 年)3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2019年度決算における公益認定の財務3基準の適合状況

1．　収支相償

「その公益目的事業を行うに当たり、当該公益目的事業の実施に要する適正な費用を償う額を超える収入を得てはならない。」

経常収益≦経常費用であること

経常収益：37,184千円　＜　経常費用：42,476千円

2．　公益目的事業比率

「毎事業年度における公益目的事業比率が100分の50以上となるように公益目的事業を行わなければならない。」

公益目的事業比率＝公益実施費用額　÷　全体費用額

＝42,476千円　÷　59,751千円

＝71.08%

3．　遊休財産額保有制限

「毎事業年度の末日における遊休財産額が、当該事業年度に行った公益目的事業と同一の内容及び規模の公益目的事業を翌事業年度においても引き続き行うために必要な額として、当該事業年度における公益目的事業の実施に要した費用の額を基礎として算定した額を超えてはならない。」

（1）遊休財産の保有上限額　42,476千円

（2）遊休財産額＝総資産－総負債－（控除対象財産－対応負債）

＝464,403千円－10,353千円

－（405,810千円＋44,734千円＋1,002千円）

＝2,504千円

判定　（1）　＞　（2）　　適合